



# 緑萌ゆ

新宮小・中学校長だより 2022.11.30

## かがやき発表会

令和4年度のかがやき発表会が、「みんなが主役 ～思い出の1ページへ～」のスローガンのもと開かれました。それぞれ充実した発表を見ていただけたのではなんでしょうか。コロナ禍で十分な練習時間が確保しにくかったり、感染症対策を取りながらの練習は制限が多かったりする中で、小学部は全校演奏「パイレーツ・オブ・カリビアン・メドレー」。中学部は全校合唱「君は君でいい」を披露しました。小学部は迫力の演奏を、中学部は歌詞の世界観を中学生らしく表現し、会場の皆さんにお届けできていたと思います。また、学習発表会の部では、それぞれの学年、グループが、生活科や総合的な学習の時間で調べたり考えたり制作したりしたことをまとめ発表しました。限られた時間での発表ですので、ダイジェスト版での発表になりましたが、もっと詳しく知りたい内容ばかりでした。全体的に「新宮が大好き」が伝わってくる内容が多かったこともうれしかったです。「君が主役だ」の部は、素晴らしい技の披露やみんなを楽しませる内容で、本当に楽しい時間となりました。会場の和やかで温かい雰囲気も素晴らしいと感じました。

なによりも、ステージ発表のほぼすべての人が、マイクを使わずに堂々と会場の人に伝えている姿に感動を覚えました。スローガンのように、みんなが主役の、一人ひとりが、ほんとうに輝いたかがやき発表会だったと思います。また、児童生徒へのプレゼントを企画・準備してくださったPTA研修部の皆さん、本当にありがとうございました。



## 浅野拓磨選手インタビュー

今盛り上がりを見せているワールドカップサッカー・カタール大会ですが、強豪ドイツ戦で決勝ゴールをあげた浅野拓磨選手の試合後のインタビューが印象的でした。浅野選手は、前回のロシア大会の時に、直前にメンバーから外れることになりました。そして、バックアップメンバーとして練習を一緒にしながらも、試合はスタンドからしか見られないという悔しい思いをしたそうです。インタビューでは「このために 4年前から準備してましたし一日も 今日の日のために 妥協したことはなかったのだからそれがしっかり結果に出てよかったかなと思います。」と答えています。「4年間妥協したことはなかった」と言い切ることができる。その言葉の重みを感じずにはられません。浅野選手が送ったその日々を想像すると、今回の結果が決して偶然ではないと感じます。また、別のインタビューでは、「約4年半前に（ロシアW杯に臨む）メンバーに入れなくて、その瞬間から今日のことを想像しながら、今日の日のために全力で準備してきたので、それが結果に繋がっただけかなと思いますし、これが結果につながっていなかったとしてもやってきたことは変わらないので、それが今日たまたま結果につながっただけかなと思います。」とも答えています。その4年半の努力の日々が、例え結果につながらなかつたとしても、後悔はないという、ある意味自信や誇りのようなものを私は感じました。

また、「僕らからしたら対戦相手は特に関係なくて、特に僕はあまり意識していなくて、どの相手でも自分がピッチに立てば100%でプレーする。それだけを意識していたので、それを全員が今日ピッチで表現できたので、結果に繋がったと思います。」とも述べています。相手は優勝4回の強豪ドイツで、強いプレッシャーがかかる試合で、相手どうこうではなく、自分自身の100%を出すことに集中する姿は、学ぶことが多いと思います。部活動でも生かせる言葉だと思いました。

来るスペイン戦で、それぞれの選手が力を十分に発揮できることを祈りたいと思います。